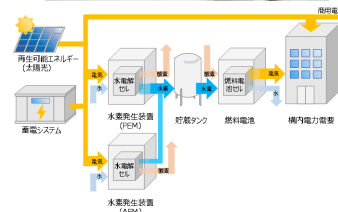


## 令和6年度の新規認証実績

### 【株式会社大林組】 認証区分：オンサイト型（地産地消）

技術研究所（清瀬市）において、太陽光エネルギーを活用したグリーン水素を製造しており、そこで生み出された水素エネルギーを拠点内施設の電力として活用。

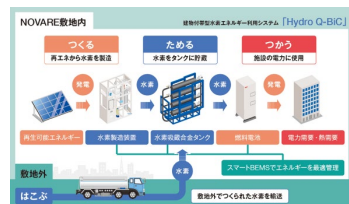
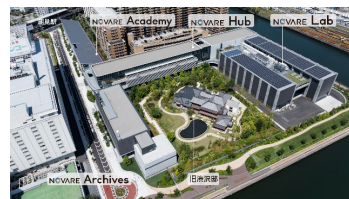
国内外で実施する他の水素プロジェクトの成果と合わせて、良質で低価格な水素提供に向けたサプライチェーンの構築を目指している。



### 【清水建設株式会社】 認証区分：オンサイト型（地産地消） オフサイト型

温故創新の森 NOVARE（江東区）において、太陽光発電にてグリーン水素を製造、発火リスクの少ない吸蔵合金で建屋内に貯蔵し、電力供給や熱利用など、施設内のエネルギー最適管理を行う水素利用システム「Hydro Q-BiC®」を構築。

本システムを複数の建物に実装し始めており、更なる普及展開を目指している。



## 令和7年度の新規認証実績

### 【ブラザー工業株式会社】 認証区分：少量利用型（オフサイト）

資格不要で安心安全な水素管理が可能となる水素吸蔵合金を燃料供給源として利用するバックアップ電源向け燃料電池システムを開発。このシステムとグリーン水素利用を組み合わせ、都内の自社施設に実装しており、今後都内を含む関東近隣の顧客への普及を目指している。



### 【野村不動産株式会社・東日本旅客鉄道株式会社】

### 認証区分：少量利用型（オンサイト）

「BLUE FRONT SHIBAURA」大規模複合開発において、ビルと浜松町駅を繋ぐ歩行者専用道路沿いでグリーン水素を製造し、燃料電池発電により各設備へCO<sub>2</sub>フリーな電力を供給。多くの方々の目に見える形でグリーン水素の利用を発信。都市部における地産地消型の再エネ活用を実現し、災害時のレジリエンス強化も図ることで、カーボンニュートラルの社会実装を目指している。



- ① エネルギーマジックシステム
- ② 燃料電池
- ③ 蓄電池
- ④ 水電解装置
- ⑤ 水素吸蔵合金タンク

